

令和1年9月26日

横浜市長 林 文子様

認定 NPO 法人ホタルのふるさと瀬上沢基金

横浜市港南区港南台 9-30-31

理事長 角田東一

不正資料でアセス通した深田の二重埋立

東急建設は、上郷開発環境アセスに深田埋立てについて、不正資料（資料1-2p,3p）を提出しました。横浜市は、市民から不正資料の指摘を受けながら「事業者から提出された資料を検討するのが市の責務だ、市民から不正資料を指摘されても伝える責務も調べる責務もない」として、不正資料でアセスを通しました。現在東急建設は、上郷開発に関わる工事申請にあたって横浜市と事前協議中と聞いております。そこで伺います。

- 1 東急建設の資料は、30年前に埋め立てられた部分を元々の地盤としています。30年前に埋め立てられた部分は、表面に産業廃棄物などが露出（資料2）しています。昭和30年代の地図（資料1-1p）からも東急建設の資料は元々の地盤ではないことは明らかと考えますが、横浜市の見解を伺います。
- 2 環境アセスは、東急建設の不正資料で検討したため、30年前の埋立て地との二重盛り土についての安全性は検討されていません。二重盛り土は山手学院テニスコート付近最大約5m、舞岡上郷線道路下約14mで、二重盛り土の安全性確認は必要不可欠と考えますが、横浜市の見解を伺います。
- 3 横浜市は埋立て工事申請に係る事前協議において、東急建設に対し正しい資料に基づき新たな調査を行った上で二重盛り土の資料を提出させ、安全性について専門家の審査を受ける必要があると考えますが、市長の見解を伺います。

ホタルのふるさと瀬上沢基金は、市民と協力して、
長い間守られてきた瀬上沢緑地を取得・借用・保全を通じて地球環境を守り、
子供や孫たちの世代に豊かな自然を残す為に活動しています。

H31.6.20 現在 会員：188名 寄付：15,233名 1,087万円